■調査票記入例

文部科学省ホームページ掲載の『質疑応答集』も御確認ください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm
○学校基本調査＞Ｑ＆Ａ＞質疑応答集（初等中等教育機関，専修学校・各種学校編）

□ 正しい番号が記入されていますか。

□ 廃校の場合，「３」を記入します。

□ 辞令面により記入します。
□ 私立義務教育学校等で学校教育法上の職名を用いていない場合，下記により職務内容で判断してください。

・副校長：校長を助け，命を受けて校務をつかさどる。
・教頭：校長及び副校長を助け，校務を整理し，及び必要に応じ児童の教育をつかさどる。
・主幹教諭：校長，副校長及び教頭を助け，命を受けて校務の一部を整理し，並びに児童の教育をつかさどる。
・指導教諭：児童の教育をつかさどり，並びに教諭その他の職員に対して，保育の改善充実のために必要な指導を行う。
・教諭：児童の教育をつかさどる。
・助教諭：教諭の職務を助ける。
・養護教諭：児童の養護をつかさどる。
・養護助教諭：養護教諭の職務を助ける。
・栄養教諭：児童の栄養の指導及び管理をつかさどる。

□ 本務者には休職者，産休者及び育児休業者並びに産休代替者及び育児休業代替者を含めます。
ただし，兼務者にはこれらの者は含めません。
□ 再任用のフルタイム勤務者は本務者，短時間勤務者は兼務者に記入します。
≪兼務者への計上漏れ注意！≫

□ 校長が０名あるいは２名の場合は，調査票欄外に理由を簡潔に記入してください。（例 校長休職中のため 等）なお，校長が２名（いずれも本務者）の場合は，「９」欄及び「11」欄に該当がないか必ず確認してください。

□ 育児休業教員≧育児休業代替教員となっていますか。なお，育児休業教員１名に対し，代替教員（本務者に限る）を２名配置している場合等はこの限りではありませんが，その旨を調査票欄外に簡潔に記入してください。

□ 私立義務教育学校等で本項目の職名を用いていない場合，下記により職務内容で判断してください。

・教務主任：校長の監督を受け，教育計画の立案その他の教務に関する事項について連絡調整及び指導，助言に当たる。
・学年主任：校長の監督を受け，当該学年の教育活動に関する事項について連絡調整及び指導，助言に当たる。
・保健主事：校長の監督を受け，小学校における保健に関する事項の管理に当たる。
・司書教諭：学校図書館法第5条の規定による司書教諭の資格を有する者で，学校図書館の専門的職務に従事する者として，発令（校長の職務命令によるものや口頭によるものを含む）を受けている教員。

□ 正規の手続を行った学校のみ記入します。
実態として，小中一貫教育を行っていても，正規の手続を経ていない学校は記入の必要はありません。

□ 「負担法による者」とは，都道府県費負担に係る都道府県立学校の職員及び市町村立学校職員給与負担法（指定都市においては義務教育国庫負担法）による職員をいいます。

□ 辞令面により記入します。
□ 公立学校の場合，週30時間以内勤務の非常勤職員は兼務者とみなし計上しません。なお，警備員等で他の職員と比べて勤務の様態が非常に異なっている者でも，１週間の勤務時間数が他の職員と同じである場合は，常勤的非常勤職員として計上します。
□夏休み期間中、雇用を解除する非常勤職員は計上の必要はありません。

□ 非常勤講師はこちらへ記入します。

□ 手引の＜法令に定める条件＞を満たす市町村費負担の教員（指定都市においては指定都市が独自に負担する(国庫負担のない)教員）を記入し

≪計上誤り注意！≫
育児休業代替教員の欄には、学校栄養職員、事務職員を計上しません。

□ 育児休業者は計上しません。

□ 該当する学級種別の番号が正しく記入されていますか。

□ 学級は設置されているものの，５月１日現在在籍児童がいない学級がある場合，当該学級欄に「０」を入力します。

□ 手引では省略可となっていますが，本県の場合は必ず記入してください。

□ 特別支援学級担当教員≧特別支援学級数となっていますか。
なお，１名の特別支援学級担当教員が２学級以上を兼ねている場合等はこの限りではありませんが，その旨を調査票欄外に簡潔に記入してください。

□ 育児休業教員≧育児休業代替教員となっていますか。
なお，育児休業教員１名に対し，代替教員（本務者に限る）を２名配置している場合等はこの限りではありませんが，その旨を調査票欄外に簡潔に記入してください。

□ 通級教室の担当教員は記入しません。

□ 留学者：国内又は外国の大学及び教育研究所へ研修のため６ヶ月以上継続して派遣されている者。（国立大学附属学校へ派遣されている者を除く。）
□ 海外日本人学校派遣者：長期研修出張の扱いで文部科学省の委嘱により，在外の日本人学校又は補習授業校に派遣されている者。
□ **大学院派遣者**，教育センター長期研修者もこちらへ記入します。

□ 教員についてのみ記入します。「８ 職員数」に計上した職員は記入しません。
□ 産休（産前産後休暇）者，病気休暇者，介護休暇者，同行休業者，大学院修学休業者，自己啓発等休業者は記入しません。

□ 学校に籍はあるが，例えば教育委員会事務局，教育研究所，公民館，理科センターに専ら勤務する者や国立大学附属学校へ派遣されている者，青年海外協力隊派遣者をいいます。

□ オンライン調査システムで回答した調査票については，調査票右下に送信した日付が表示されます。空白になっていないか，表示されているのが本年度の日付かを必ず確認してください。

20XX/05/01 09:00

令和○年度 学 校 基 本 調 査

学 校 調 査 票 （義務教育学校）

（式 第 27 号 ） 秘

に基づく基幹統計調査

都道府県番号 15 / 学校コード C2・・・・・・・・・・ B

義務

〒 （市区郡） （町村） （番地

電話（ ） ）

2 学校名（フリガナ） 義務教育学校 分 校

所在地の市町村番号 102

3 設置者別 22（該当する項の番号を記入する。）
11 国立 21 都道府県立 22 市（区）立 23 町立 24 村立 25 組合立 31 私立

4 本校分校別 1（該当する項の番号を記入する。）
1 本校 2 分校

5 へき地等学校指定の有無（公立のみ） 1（該当する項の番号を記入する。）
1 指定なし 2 特別地 3 準へき地 4 1級地 5 2級地 6 3級地 7 4級地 8 5級地

6 小中一貫教育の施設形態（該当する項の番号を記入する。）
1 施設一体型 2 施設隣接型 3 施設分離型 4 その他

報告者 校長 氏名 / 取扱者 氏名

7 教員数

本務者（休職者等を含む。）／兼務者（休職者等を除く。）

校長 副校長 教頭 主幹教諭 指導教諭 教諭 助教諭 養護教諭 養護助教諭 栄養教諭 講師 計 （再掲）市町村費負担の教員

8 職員数（本務者のみ。）

負担法による者（公立のみ）：a 事務職員 / 学校栄養職員 / 「7」以外の教員 / 事務職員 / 学校図書館事務員（養護職員（看護部等））

その他の者：学校栄養職員 / 学校給食調理従事員 / 用務員 / 警備員・その他

計

（再掲）左記a事務職員のうち学校事務従事者 / 負担法による者のうち休職者 事務職員 / 学校栄養職員

9「7」の本務者のうち休職等教員数（再掲）

校長・副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・助教諭 / 養護教諭・養護助教諭・栄養教諭

休職 教員組合事務専従者（公立のみ） / 職務上の負傷疾病 / その他 / 育児休業 / 介護休業 / 計

10「7」の本務者のうち教務主任等の数（再掲）

教務主任等：教務主任 / 学年主任 / 保健主事 / 生徒指導主事 / 進路指導主事 / 司書教諭 / 舎監 / 計

特別支援学級担当教員：特別支援学校教諭免許状所有者 / 特別支援学校教諭免許状非所有者 / 計

11「7」の本務者のうち指導主事等の数

（休職者を除く。）（再掲，公立のみ）

指導主事：教育委員会事務局等勤務者 / その他 / 本人学校派遣者 / 海外日

12「7」及び「8」の本務者のうち産休代替等教職員数（再掲）

産休代替教職員：副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・助教諭・養護教諭・栄養教諭 / 事務職員 / 学校栄養職員 / 計

育児休業代替教員：副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・助教諭・養護教諭・栄養教諭 / 計

13 私費負担の職員数（国・公立の本務者のみ）

事務職員 / 学校図書館事務員 / 給食職員 / その他 / 計

14 学校医等の数

学校医（内科・耳鼻科・眼科医を含む） / 学校歯科医 / 学校薬剤師

15 学年別学級別児童・生徒数

学級区分		学級種別	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	計
単式学級	4組	5040 1	40	39	39	39	38	7	38	37	27	
	5組	5050 1	39	39	40	40	0	6	39	0	21	
	6組	5060 1										
	7組	5070 1										
	8組	5080 1										
	9組	5090 1										
	10組	5100 1										
	11組	5111 0										
	12組	5120 1										
	13組	5130 1										
	14組	5140 1										
	15組	5150 1										
	小計		79	78	79	79	38	53	77	37	48	7
2個学年	5260	2	3	4			0	0				7
		0										0
級												
特別支援学級	知的障害	5410 1	4	1								5
	肢体不自由	5420 2										5
	言語障害	5430 6										0
	自閉症・情緒障害	5440 7										7
		5450										
	計	※5810 9	86	83	81	82	36	59	92	37	60	9
単式学級、複式学級及び特別支援学級の児童生徒数合計	計	※5820 9	44	43	38	41	18	29	46	19	30	9
	男	※5830 9	42	40	43	41	18	30	46	18	30	8
	女											
	（再掲）計のうち内訳						4	3	9	1	9	2
								2	6	2	9	4

16「15」の児童生徒数のうち帰国児童生徒数（再掲）

令和△年4月1日から令和○年3月31日までに帰国した児童生徒数

1学年 2学年 3学年 4学年 5学年 6学年 7～9学年

17「15」のうち外国人児童生徒数（再掲）

1～6学年 7～9学年

担当教員数

学級数 生徒数